

4 みんなで取り組もう

中心市街地の活性化は、行政や業者だけでなく実現できるものでなく、市民やNPO、学生など多くの人の活動、地権者や企業と連携・協力した取り組みが必要です。

たとえば、次のような取り組みが望まれます。

- ✓ 空き地・空き家・空き店舗の所有者……利用したい人に貸したり住宅を整備して有効活用する。
- ✓ 市民・NPOや学生……コンサートやイベント等、まちで活動する。
- ✓ 地域住民……地域の景観や美化活動、コミュニティ活動を行なう。
- ✓ 業者や企業……個性的な店づくりや事務所等を開設する。



(福井大学生による町家リフォーム)

(武生商業高校による蔵の仕での演奏)

◆ まちづくりの推進体制

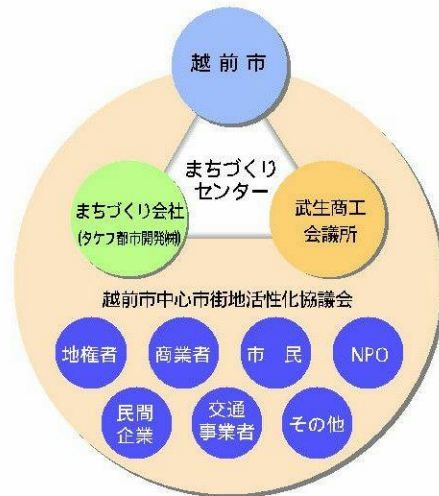
■ 越前市中心市街地活性化協議会

『基本計画』にある事業を具体化していくために、住民、市民団体、商店、不動産・交通事業者、商工会議所、まちづくり会社、行政等の関係者がアイデアを出し合い総合調整を図っています。

専門部会

- まちなか居住推進部会
- まちなか賑わい創出部会
- 交通アクセス利便性向上部会

(事務局 武生商工会議所)



■ まちづくりセンター

まちづくり会社のタウンマネージャー、商工会議所と市の職員が連携して活性化事業に取り組んでいますので、気軽にお立ち寄りください。(JR武生駅前センチュリープラザ1階 電話25-6802)

越前市が住みよく、将来とも発展し続けるために 越前市中心市街地活性化基本計画(概要版)

1 人口減少・超高齢社会を迎え、どのようなまちづくりが必要でしょうか

◆ コンパクトなまちづくり

市街地が薄く広がり、クルマがなければ生活しにくい都市構造が形成されてきました。このまま市街地の拡散が進むと、行政サービスの費用や環境負荷も増大していきます。

人口減少・超高齢社会を迎え、これまでに整備してきた都市施設を有効に活用し地域特性をいかしたコンパクトなまちづくりが求められています。自動車にたよらなくてもバスや電車を利用して買い物や病院に行け、文化やさまざまな人とふれあえる、歩いて暮らせるまちづくりが必要です。

歩いて暮らせるまちづくり



◆ 都市拠点としての中心市街地の再生

中心市街地から人が少なくなり、にぎわいが失われています。しかし、中心市街地には公共交通やさまざまな都市施設があり、近郊の市民にとっても便利で魅力的な都市拠点を最も効果的・効率的につくることができる区域です。また、越前市の『顔』ともいえる中心市街地の活性化は、定住促進や産業活性化など市の発展にとっても重要です。

越前市は、子どもから高齢者まで多くの人にとって暮らしやすいまち、将来とも発展し続けられるまちを目指して、中心市街地の活性化に取り組んでいます。

『基本計画』が国に認定されました

国は、内閣総理大臣を本部長とする「中心市街地活性化本部」を設置し、認定した『基本計画』を重点支援しています。越前市の『中心市街地活性化基本計画』は平成19年11月30日に認定されました。(平成20年1月現在、全国で24市が認定されています。)